

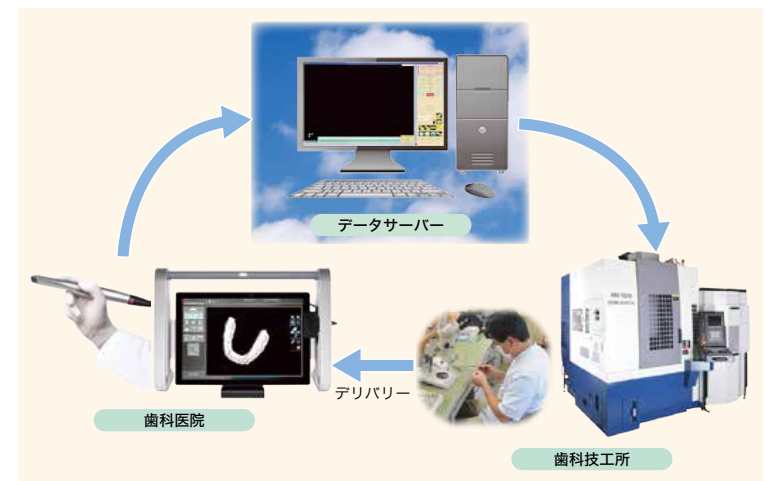
■ 図 19-45 ■ 液槽光重合方式における積層方法の例



■ 図 19-46 ■ 液槽光重合方式による補綴装置の製作例(規制液面法でのSLA)



■ 図 19-47 ■ チェアサイド完結型 CAD/CAM システム



■ 図 19-48 ■ ネットワーク利用分散型のワークフロー

療で利用できる CAD/CAM 冠は、このタイプのみが認められている。

3 ネットワーク利用分散型

クラス II 機器として承認されている口腔内スキャナーで収集したデータを、ネットワークを介して技工所に送り、直接製作を依頼すると、完成した修復・補綴装置が歯科医院に配達される(図 19-48)。チェアサイド完結型ではむずかしい症例などにも対応できるという利点がある。しかし、技工作業を行うために付加製造装置で作業模型を製作する場合もあるが、デジタルデータをもとに製作されていることから、患者装着時まで適合を確認できないという欠点がある。

3 CAD/CAM システムの利用形態

1 チェアサイド完結型

口腔内スキャナーと小型の加工機がセットになっているもので、診療室内で最終製品の完成まで行うことができる(図 19-47)。材料によっては即日修復が可能になるという利点があるが、材料によっては加工後に複雑な技工作業が必要となるものもあり、すべての症例に対応できるわけではない。

2 歯科技工所設置型

歯科医院で通常的印象採得から模型製作までを行い、それを歯科技工所に届け、その後、模型のスキャニングから CAD/CAM の工程ならびに後処理までを歯科技工所が請け負う。現在保険診